

「見る②」

【ねらい】

- 目をたくさん動かし、視覚処理能力を養う。
- 相手の様子、動き、変化に注目する。

【学習の流れ】

1. 見ることの大切さを知る。

- よく見ることで・・・板書を写すのが速くなる。
- ボール運動が得意になる。
- 友達の様子が分かる。

2. よく見る活動を行う。

- ・目で伝言ゲーム
- ・ボールにあるのは？
- ・マジックを見破れ！
- ・うすのろ
- ・ケーキデコレーション
- ・PIT

※上記の中から、児童の実態に応じて教員が選択して行います。また、実態に応じて内容を変更して行なうこともあります。

3. 振り返りをする。

- ・活動の中で、気を付けたポイントを発表する。
- ・クラスの活動の中で活かしたいことを発表する。

担任の先生・保護者の皆様へ

今週の小集団活動では「見る活動②」を行いました。1学期に行った見る活動では、目と手の協応を高める活動を行ってきました。今週は、注視する活動、見て考える活動を中心に取り組ませました。注視する力が付くことで、目を逸らさずに見ることができたり、集中して見たり、周りの変化に気付いたりすることができます。また、見て考える力は、様々な教科の学習で役立ちます。さらに、学習だけでなく、他者の表情・行動を見て、状況を把握することができるようになります。

見る力を付けて、できることが増えたり、いろいろなことに気付いたりすることで、日常生活や学校生活がより楽しくなることを期待しています。